

第5回脱タバコ社会実現委員会ミニシンポジウム Committee for Tobacco-Free Society, Mini-Symposium

脱タバコ社会実現委員会委員長 長尾 徹
NAGAO Toru, Committee Chairman for Tobacco-Free Society

第65回日本口腔外科学会総会・学術大会において脱タバコ社会実現委員会併催会議として、ミニシンポジウムを予定します。

演者：愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 稲垣幸司教授

演題名：「歯周病と喫煙との関連性の潮流から」

脱タバコ社会実現委員会は5回目となるミニシンポジウムを企画しました。今回は愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科の稲垣幸司先生にお願いしました。先生は2018年に、日本歯周病学会から「歯周治療における禁煙支援の手順書」を上梓されました。本書は喫煙関連口腔疾患に対する禁煙支援を手助けする日本で初めてのポジションペーパーです。

講演では歯科臨床における禁煙支援の取り組みから新型タバコと口腔の健康への影響についてもお話していただきます。会員の先生方の積極的なご参加を期待しています。

講演者：愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 稲垣幸司教授

Speaker: Professor Koji Inagaki, Department of Dental Hygiene, Aichi Gakuin University Junior College

演題名：「歯周病と喫煙との関連性の潮流から」

The Current Impact of Smoking on Periodontal Disease and Treatment

抄録

歯周病と喫煙との関連性の潮流から

The Current Impact of Smoking on Periodontal Disease and Treatment

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科

稲垣幸司

INAGAKI Koji

Department of Dental Hygiene, Aichi Gakuin University Junior College



日本歯周病学会では2006年に定めた歯周病分類システムの中で、「喫煙は歯周病の最大の環境リスクファクターである」という認識に基づき、リスクファクターによる歯周炎の分類の1つとして喫煙関連歯周炎を提示した。喫煙関連歯周炎に対する歯周治療において、新型タバコも含めた喫煙状況の確認、ニコチン依存症としての身体的依存度、心理的依存度を判定し、歯周基本治療の段階で、早期に禁煙を促し、禁煙支援をスタートさせる必要がある。また、受動喫煙により、歯周炎、小児のう蝕や歯肉メラニン色素沈着のリスクが高くなることも明白であり、受動喫煙症としての歯周炎や歯肉メラニン色素沈着に対する対応も重要である。本シンポジウムでは、日本歯周病学会での取組、喫煙に関する最新事情、喫煙関連歯周炎の臨床所見、歯周治療指針、禁煙の効果、さらに、受動喫煙症としての歯肉メラニン色素沈着に対する対応について概説する。

略歴：

1982年 愛知学院大学歯学部卒業

1986年 愛知学院大学大学院修了（歯学博士）

1989年 愛知学院大学歯学部講師（歯周病学講座）

2000年～2001年 ボストン大学歯学部健康政策・健康事業研究講座客員研究員

2005年 愛知学院大学歯学部助教授（歯周病学講座）

2007年 愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科教授、愛知学院大学歯学部兼任教授（歯周病学講座）

現在に至る